

～海鳴い遙かに～

# 上高だより

平成30年12月21日 金曜日  
第9号



長崎県立上五島高等学校  
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTO HIGH SCHOOL



## 小さな努力の積み重ね

校長 原 昌紀

月日が経つのは早いもので、今年も残りわずかとなりました。生徒・保護者の皆様にとって今年1年はどういう年だったのでしょうか。上五島高校にとっては、生徒・教職員一丸となって学習・部活動・学校行事に着実な進歩を遂げ、学校目標である「確かな学力と未来を拓く人間力」を身に付けるべく一歩一歩を確実に進んでいることを実感できる年であったと思っています。

さて、最近の日本スポーツ界の躍進ぶりは目覚ましいものがあります。特に卓球においては、これまで中国という非常に高い壁に阻まれてきましたが、男女とも中国と肩を並べるレベルまで向上してきました。男子では、張本智和選手が、今年1月の全日本卓球大会で若干14歳、史上最年少で日本一に輝きました。今月16日に行われた卓球ワールドツアー・グランドファイナルでも中国選手を破り優勝するなど、リオデジャネイロ五輪で活躍した水谷選手とともに将来が大変楽しみな選手として期待されています。張本選手の両親は卓球教室を経営しており、張本選手は小さい時からその卓球場で練習しました。毎日、通学前の6時に起床して、サーブの練習を欠かさずやっていたそうです。その練習場には、大リーグのイチロー選手の言葉「小さいことを一つ一つやっていくことが、とんでもないことをやっていくことの近道」が貼られているそうです。女子では、伊藤美誠選手が11月に行われたスウェーデンオープンで、準々決勝、準決勝、決勝で世界ランク1位、2位、5位の中国選手を破り優勝という快挙を成し遂げたことは、記憶に新しいところです。その伊藤選手は、リオデジャネイロ五輪後、思うように力を発揮することができず、一時スランプに陥りました。その時に、卓球のコーチである母親から「基本ができていない」と厳しく言われ、基礎からまたやり直したそうです。基礎練習で基本を鍛えて少しずつ成果が出てきました。今では、ラリーではどの選手にも負けないようになっている、と言われていました。また、狙われているところを何度も練習して強化したそうです。二人の選手に共通して言える事は、イチロー選手の言葉「小さな努力の積み重ね」が夢の実現につながっているということです。努力の大切さ、続ける事の大切さを教えてくれています。教育学者の東井義男先生は、「本物は続く、続けると本物になる」という言葉を残しています。上高生も、小さな努力を惜しまず積み重ねてほしい、それが皆さんの夢や希望の実現に繋がっていくのです。

結びに、この1年、生徒の皆さんは、素直に意欲的に懸命に学校生活に取り組んでくれたことを心から嬉しく思います。間もなく迎える2019年に思いを馳せ、しっかりやるぞとの思いで、希望に満ちた新年を迎えてください。

保護者の皆様には、今年も本校の教育活動に対しまして、御理解、御支援をいただいたことに、心からお礼を申し上げます。来年も皆様にとって輝かしい年となりますようお祈りいたします。良いお年をお迎えください。

## 1学年より

### 1年後の自分に思いをさせて

2018年もいよいよ終わりが近づいてきました。年の瀬が迫るこの時期は、自分の1年間の歩みを振り返る絶好の機会です。1年前のこの時期、自分が『どんなことを考え、どのような日々を過ごしていたのか』を思い返してみてください。おそらく、まだ中学3年生だった1年前、君達は3ヶ月後に迫った高校入試を前にした不安な気持ちと、その先にある高校生活に対する夢や憧れを胸に、受験勉強に励んでいたのではないのでしょうか。そんな1年前の自分が思い描いていたような高校生活を、みんなは過ごせていますか??

2018年の終わりは、2019年の始まりでもあります。日々、何となく生活している人と、明確な目標をもって生活している人とでは、成長の度合いは大きく違います。新しい年の始まりを、1年後に「こうありがたい」という新たな自分像を描く絶好の機会としてください。

## 2学年より

### 平成30年度修学旅行

12月10日(月)から14日(金)までの5日間、第66回生(111名)が長野・東京へ修学旅行に行ってきました。長野ではスキーを経験し、東京では自分たちで都内を巡る計画を立て、各班で活動しました。天候に恵まれない日もありましたが、各研修ごとに目的を持って活動し、楽しく思い出に残る修学旅行になったと思います。



## 3学年より

### ～65回生の皆さんへ 上高生として、最後の年末年始に何を思う?～

上高生でいられるのも残りわずか。今一度、初心に帰りましょう。『あなたは、何をしに上高へきましたか?』『あなたは、上高で何を身につけましたか?』『あなたは、何ができるようになりましたか?』『あなたは、どれだけ成長しましたか?』『成長したと感じたのはどんなときでしたか?』卒業まで成長できる機会はまだまだあります。65回生の皆さん、上高生として、胸を張って誇れる自分であれ。

1・2組の皆さん、ラストスパート!!よそ見せず、前を見据えて全力で駆け抜けましょうね。受験で鍛えられるものは、学力だけではありません。”tough”な人間になれ!!

# 第66回生、修学旅行に行ってきました!!

## 1組集合写真



## 2組集合写真



## 3組集合写真



## 4組集合写真



# 国際交流を行いました!!

12月6日(木)、南太平洋大学の学生20名と本校の2年生57名が国際交流を行いました。『折り紙』や『けん玉』、『めんこ』に『だるまさんがころんだ』等の、日本の伝統的な遊びを生徒が英語で紹介し、南太平洋大学の学生たちに体験してもらいました。生徒たちは自分が持っている英語の知識を使って積極的に話しかけていて、とても楽しんで学生たちと交流を行っていました。

また、交流会の後半には、南太平洋大学の学生たちによるダンスや歌が披露され、生徒たちにとって、日本と異なる文化に触れることができる貴重な経験となりました。



今回の国際交流を通して、多くの生徒たちが、英語をもっと学び、海外の方々と英語で話したいと思う気持ちが強くなったようでした。

# 一人一人が真摯に考えよう!!

12月6日(木)に体育館で平成30年度生徒人権研修を行いました。北朝鮮拉致問題を扱った映画「めぐみ」を視聴し、全校生徒で人権について考えました。1977年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが拉致された実際の事件を題材にしたドキュメンタリーアニメを、生徒たちは最後まで真剣な眼差しで見っていました。この映画を見て、「これまであまりよく知らなかった拉致問題について知ることが



できてよかった」「拉致問題を他人事としてとらえずに真剣に向き合うべきだ」と感じた生徒が多かったようです。

今回の人権研修をきっかけに、生徒たちに幅広い人権感覚を身につけ、思いやりの心を育ててほしいと願います。

## 1月の行事予定

1日(火)	元日	21日(月)	自己採点
5日(土)	③冬季補習(~7日)	22日(火)	お魚料理教室(1-4)
8日(火)	始業式 頭服検査	23日(水)	民間講話(2-4)
12日(土)	③センタープレ(~13日)	24日(木)	③学年末考査(~29日)
18日(金)	電情科課題研究発表会 センター試験会場設営 ③考査時間割発表	25日(金)	第3回英検1次
19日(土)	③センター試験(~20日) ①②対外実力(石油備蓄会館)	30日(水)	③考査返却時間割 企業見学(2-4)
		31日(木)	校内マラソン大会